

A 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきらずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

現在私たちが知っている人類の歴史は、その多くが書物を通じて伝えられてきたものである。書物と、またそれを収蔵する図書館の歴史を通じて、世界史を振り返ってみよう。

粘土板に楔形文字を記録することを始めたのはシュメール人であった。紀元前24世紀中頃には彼らの都市国家を、サルゴン率いるアッカド人¹⁾が征服したが、アッカド人も楔形文字を受け継ぎ、それを自らの言語にあわせて使用した。²⁾最初期の粘土板は単純な物品の目録などであったが、やがて行政上の文章や神話なども書き留められるようになった。

前7世紀前半にオリエント全土を征服したアッシリアは粘土板の文書を収集し、首都ニネヴェにはそれらを保管するための施設、³⁾つまり今日で言うところの図書館が建てられた。前3000年頃に統一王朝の生まれたエジプトでは、カヤツリ草を原料とするパピルスに文章が記録されるようになった。⁴⁾パピルス (papyrus) の名は、今日でも紙 (paper) の語源として残っている。ギリシアに目を向けると、前5世紀の終わり頃に書かれた文章から、当時のアテネに書籍商が存在していたことを窺い知ることができる。ギリシアの諸ポリスを支配下に置いたのはマケドニアであったが、この国のアレクサンドロス大王⁵⁾は前334年に東方遠征へと出発し、エジプトからインダス川流域までをも含む大帝国を建設した。⁶⁾ヘレニズム時代⁷⁾の幕開けである。⁸⁾

大王の死後にエジプトを領土としたプトレマイオス朝は、ナイル川の河口に位置する都市アレクサンドリアにムセイオンを設置し、付属の図書館に膨大な数の書籍を集めた。この図書館の初代館長を⁹⁾務めたのはゼノドトスだが、彼はホメロスの写本の比較研究で有名である。一方、小アジアでは前262年にペルガモン王国が¹⁰⁾(イ)朝シリアから独立したが、この王国にも大規模な図書館が建設された。今日、ペルガモン (Pergamon) の名前は、羊皮紙 (パーチメント parchment) の語源となっている。

イタリア半島では、前1000年頃に北方から南下してきたラテン人が(ロ)川の河畔に都市国家ローマを建設した。彼らは先住民である(ハ)人を介してギリシア文化の影響を受け、ギリシア文字をもとにしたローマ字を用いるようになった。後にローマの内乱を収めたカエサルは、大規模な公共図書館を建築する構想を立てたが、その実現を見ず暗殺されてしまったため、計画はカエサルの支持者であったポリオによって引き継がれた。カエサルの養子である(ニ)は元老院から「アウグストゥス」の称号を与えられた人物だが、彼もパラティヌスの丘に図書館を建築した。さらに歴代皇帝¹¹⁾たちも図書館を作った。

やがて、ローマ帝国は東西に分裂する。西ローマ帝国がゲルマン人大移動¹²⁾の影響を受け

て衰退すると、中部イタリアの図書館は荒廃した。しかしその一方で東ローマ帝国はその後も活況が続き、コンスタンティノーブルには皇帝により図書館が建て¹³⁾られた。

ローマ世界でキリスト教が優位になると、「教父」と呼ばれるキリスト教思想家たちの著述活動はますます活発になる。その代表例として（ホ）による『教会史』・『年代記』や、アウグスティヌスによる『告白録』・『神の国』などがある。これらの書物は書写されヨーロッパ各地の修道院などに収蔵された。

14)

A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～14)にそれぞれ対応する次の問1～14に答えよ。

1. 彼らの都市国家でないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

a. イェリコ b. ウル c. ウルク d. ラガシュ

2. 彼らとおなじ語系に含まれないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

a. アムル人 b. カナン人 c. ヘブライ人 d. ペルシア人

3. この国が前7世紀末に崩壊した後、オリエント世界にはエジプト、新バビロニア、リディア、メディアの四国が分立することになる。このうちメディアの都の名をしるせ。

4. この国の王であったラメス2世が、前13世紀前半にシリアでヒッタイトと交えた戦いを何と呼ぶか。その名をしるせ。

5. このポリスの指導者であったクレステネスが定めたとされる、僭主の出現を防ぐための制度を何と呼ぶか。その名をしるせ。

6. この人物が活躍した前4世紀頃、中国では諸侯勢力が割拠するなか諸子百家が出現した。それらのうち、合従を説いた縦横家に該当するのは誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

a. 公孫竜 b. 鄒衍 c. 蘇秦 d. 李斯

7. この遠征の過程で行われた戦いはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

a. イッソスの戦い b. カンナエの戦い
c. テルモピレーの戦い d. プラタイアの戦い

Ⅱ. 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

人びとは経済的豊かさを求めて、あるいは、紛争・環境悪化から逃れるために移動してきた。19世紀は国境や海を越える大量の移民を生み出した世紀だったが、その背景には、世界規模の政治的・経済的変動があった。とりわけ、不況や飢饉¹⁾によって大量の移民がヨーロッパを離れて流出した。そのうちの多数が、新しい生活を求めてアメリカに向かい、労働力となって経済的發展を支えた。また、1848年、カリフォルニアで金鉱が発見されたことをきっかけに、太平洋岸にアジアなどからの大量の移民労働者が流入し、西部の開拓はますます進んだ。しかし、西部開拓²⁾とは合衆国の領土拡大にほかならず、同時に、先住民の生活圏を奪っていく過程³⁾でもあった。合衆国第7代大統領（イ）は、先住民をミシシッピ川以西に設定した保留地に強制的に移住させる政策を推進した。とくに、1838年から翌年にかけてのチェロキー族の移動ではおよそ4000人が病気と飢餓のため命を落としたといわれる。この移動はその過酷さゆえに、「（ロ）」と呼ばれた。

移民を運ぶための手段であった鉄道⁴⁾は、ヨーロッパの帝国主義列強が、世界各地に領土や権益を拡張する手段としても用いられた。19世紀末、オスマン帝国が衰退してくるにつれ、列強はその領土へと進出した。その中でドイツは、海軍の拡張に努めると同時に、いわゆる（ハ）鉄道敷設権をオスマン帝国から獲得するなどして、中東方面に進出する政策をおしすすめた。これは世界政策と呼ばれるドイツの対外拡大政策の重要な一部となった。こうして列強の争いは激化⁶⁾していった。

20世紀に入ると、株価の大暴落が引き金となり、世界恐慌がもたらされた。その後の混乱の中でファシズム国家が台頭したが、とくにナチス＝ドイツの反ユダヤ主義政策によって多くの亡命者⁷⁾が生まれた。その後も、民族紛争、内戦⁸⁾などにより、中東、バルカン半島、アフリカ等々の諸地域で、多くの難民⁹⁾が生まれ、今日になってもなお、難民となって移動する人びとは世界各地に存在¹⁰⁾している。

A. 文中の空所(イ)～(ハ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～10)にそれぞれ対応する次の問 1～10に答えよ。

1. 1840年代半ば、ジャガイモの疫病が大流行し「ジャガイモ飢饉」が発生した。とくにその被害がはなはだしく、アメリカに多くの移民を送り出すことになった地はどこか。その名をしるせ。

2. このうち、ときに過酷な条件で労働させられた、中国を中心とするアジアからの移民は何と呼ばれたか。その名をしるせ。
3. これに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. その過程で起きた次の出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の①に、次に古いものを②に、以下同じように④まで年代順にマークせよ。
- a. イギリスとの協議によってオレゴンを併合した
 - b. スペインからフロリダを買収した
 - c. フランスからルイジアナを買収した
 - d. ロシアからアラスカを買収した
- ii. 先住民の犠牲の上に推し進められた西部開拓を神の意志によるものとして正当化するために1840年代から用いられるようになった言葉は何か。その名をしるせ。
4. これに関する次の出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. インド帝国の成立後まもなくダージリン＝ヒマラヤ鉄道が開通した
 - b. 北アメリカ大陸で、最初の大横断鉄道が開通した
 - c. ロシアが三国干渉の代償として清から東清鉄道の敷設権を獲得した
 - d. ロシアでシベリア鉄道の建設が始まった
5. この帝国に関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. この帝国の攻撃を受けて1517年に滅亡した、シリア・エジプトを拠点とする王朝の名をしるせ。
- ii. この帝国は18世紀末から19世紀に外からの圧力にさらされ、内政改革を進めた。同帝国で1876年に発布された憲法は、起草の中心となった大宰相の名にちなみ何と呼ばれるか。その名をしるせ。
6. 19世紀末にこの政策を開始したドイツの皇帝の名をしるせ。
7. この過程で結ばれた同盟・協商関係について、次の a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで時代順にマークせよ。
- a. イギリスと日本が日英同盟を結んだ
 - b. イギリスとフランスが英仏協商を結んだ
 - c. イギリスとロシアが英露協商を結んだ
 - d. ロシアとフランスが露仏同盟を結んだ

【以下余白】